

◀行事開催の記録▶

第6回森林GIS学生フォーラム in 東京大学

開催日：2009年12月19日（土）13時～17時
 場 所：東京大学農学部7号館B棟2F231/232号室
 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

宇都宮大学 松英恵吾

森林GISの若手研究者育成と交流の場として、森林GIS学生フォーラムが企画され、これまで、2004年信州大学、2005年三重大学、2006年新潟大学、2007年宇都宮大学、2008年東京大学秩父演習林と過去5回開催されている。従来は地方を中心に演習林での宿泊、現地見学を組み合わせで開催してきたが、参加大学の固定化もあり本行事の存在を広く周知すること、学生の参加費軽減を目指し、今回は東京での開催とした。東京大学を会場とし、発表課題は森林GIS、データベース、リモートセンシング、画像解析を対象とした。その結果、11件の発表が行われた。また、今回は東京開催ということもあり、学生のキャリア意識の向上を目指し、賛助会員企業であるパシフィックコンサルタンツ(株)澤野氏に業務に関するご講演を頂いた。

当日は東京大学農学部7号館B棟2F231/232号室を使用してフォーラムが開催された。加藤前会長の挨拶に始まり、大学院生4名、学部生7名の発表が一人15分の持ち時間で行われた。発表会后、聴衆により投票が行われ大学院生部門では、成瀬真理生（信州大学）、村上文美（宇都宮大学）、学部生部門では高橋悟（信州大学）、宮下沙貴（新潟大学）の計4名が優秀賞に選出された。参加者は24名であった。

フォーラムプログラム

13:00	開会			
13:10		王楠	信州大	院生 赤沢自然休養林の樹木成長予測モデルの開発
13:25		伊藤要	宇都宮大	院生 栃木県鹿沼市私有林における循環路網配置手法の検討
13:40	休憩			
13:45		村上文美	宇都宮大	院生 那須野ヶ原地域における森林バイオマス収集システムの検討
14:00		成瀬真理生	信州大	院生 構成樹種でみる鳥類の分布傾向の年度変化
14:15	休憩			
14:20		匠陽子	新潟大	学部 衛星画像を利用した米タンパク含有率の推定
14:35		谷村元豊	三重大学	学部 携帯型GPSを用いた森林境界測位精度について
14:50		宮下沙貴	新潟大	学部 新潟県丸湯新田における飛来ハクチョウの分布に及ぼす要因
15:05	休憩			
15:10		高橋悟	信州大	学部 赤沢自然休養林の斜面方位別における林相の違いについて
15:25		渡辺卓	新潟大	学部 スギ人工林材積に影響を及ぼす要因の解析
15:40		金井聡	信州大	学部 赤沢自然休養林140年経過区の前生樹と更新樹の林分構造
15:55		千木良雄治	新潟大	学部 スギ人工林の径級別本数の予測
16:10	特別講演	澤野麻利江	パシフィックコンサルタンツ(株)	パシフィックコンサルタンツ(株)の森林GISの紹介
16:30	表彰・閉会			

